



令和6年7月1日

No. 474

**<実地研修会「明石海峡大橋～世界最大級の吊り橋の維持管理～」を開催>**

実地研修会「明石海峡大橋」が、令和6年6月13日（木）～14日（金）の日程で、42名の参加を得て兵庫県神戸市で開催されました。

初日は、現地視察の事前学習のため、本州四国連絡高速道路株式会社企画部次長の河藤千尋氏及び本四高速道路ブリッジエンジニアリング株式会社技術事業本部本部長の楠原栄樹氏を講師に迎え、「本州四国連絡橋の技術と役割」の聴講を行いました。聴講後には、受講者や講師など総勢20名が参加し、参加者同士の交流会・講師との意見交換会が行われました。

2日目の現地視察は、神戸側1A アンカレイジから2P 主塔まで中央管理用通路を歩きながら吊橋ケーブルの防食をする送気乾燥システムなどを視察し、高さ約300mの塔頂で説明を受けました。橋の科学館では建設に使われた橋梁技術を模型や映像で学習しました。



【聴講の様子】



【2P 主塔の塔頂での視察の様子】

**<令和6年度公共工事品質確保技術者資格試験の申請を締め切りました>**

令和6年度公共工事品質確保技術者資格試験の受験申請を6月14日（金）で締め切りました。申請者は以下のとおりとなりました。

- 申請総数 125名（前年度 139名）
  - 内訳 品確技術者Ⅰ 61名（前年度 57名）
  - 品確技術者Ⅱ 64名（前年度 82名）

今後、書類審査を経て、受験者の皆様には受験票を送付いたします。面接試験実施都市と日程を確認してください。

なお、面接試験実施都市と日程は、以下のとおりです。

#### 面接試験実施都市と日程

札幌市 令和6年10月12日（土）	仙台市 令和6年10月12日（土）	東京都 令和6年11月16日（土）
新潟市 令和6年10月19日（土）	名古屋市 令和6年10月 5日（土）	大阪市 令和6年10月19日（土）
広島市 令和6年11月 9日（土）	高松市 令和6年11月 2日（土）	福岡市 令和6年10月26日（土）
那覇市 令和6年11月 2日（土）		

【問い合わせ先】 事業課 高野 春日

TEL : 03-3585-4546 E-mail : [hinkaku@zenken.com](mailto:hinkaku@zenken.com)

#### <令和6年度公共工物品質確保技術者資格登録更新講習の申請受付中>

令和6年度公共工物品質確保技術者資格登録更新講習（Ⅰ、Ⅱ共通）の受付を行っております。受付期間、主な対象者、講習方法、受講期間については以下のとおりです。

##### ○公共工物品質確保技術者資格登録更新講習（Ⅰ、Ⅱ共通）

申込書受付期間 令和6年6月3日（月）～7月31日（水）

主な対象者 ①令和3年度の合格者で登録申請手続きをすませた者

②令和3年度に登録更新手続きをすませた者及び令和4年度に再登録した者  
（①②共に、令和7年3月31日に登録有効期間が満了する者）

③令和6年3月31日で登録有効期間が満了した者

※対象者には登録更新申請用紙とともに通知を送付しています。

講習方法 WEB研修【ビデオ方式】：事前に収録した動画を任意の時間に視聴する方法

※講習内容は全国共通

受講期間 令和6年10月15日（火）13時～11月15日（金）13時

【問い合わせ先】 事業課 高野 春日

TEL : 03-3585-4546 E-mail : [hinkaku@zenken.com](mailto:hinkaku@zenken.com)

#### <研修委員会の開催>

—研修委員会—

令和6年6月25日（火）、橋本雅道委員長（国土交通省大臣官房技術調査課長）をはじめ委員10名の出席のもと、第281回研修委員会がWEB会議で開催されました。

委員会では下記の議事が審議され、すべて了承されました。

##### ○令和6年度建設技術講習会実施計画（案）について

・第706回建設技術講習会（茨城県水戸市）

「上水道行政の課題・下水道行政の課題」

・第707回建設技術講習会（大阪府大阪市）

「公共工物品質確保と入札契約の適正化」

・第708回建設技術講習会（広島県広島市）

「都市行政の課題・河川行政の課題」

- ・第709回建設技術講習会（福岡県福岡市）  
「工事積算（土木・建築）の動向と i-Construction の取組」
- 令和7年度建設技術講習会年間計画（案）について

### <第67回定時社員総会が開催される>

令和6年6月26日（水）、本会の第67回定時社員総会が東京都千代田区のアルカディア市ヶ谷において開催されました。

定時社員総会は午後1時から、出席正会員 60名、委任状 45,102名、議決権合計 45,162名（総会成立定足数 28,062名）のもとに開催されました。はじめに本会の大石久和会長の挨拶があり、続いてご来賓の石橋洋信氏（国土交通省大臣官房技術総括審議官）、田中郁也氏（農林水産省水産庁漁港漁場整備部長）からご祝辞をいただきました。

続いて、大石久和会長を議長に選出して下記議案の審議に入り、すべて原案のとおり承認されました。

なお、「役員選任の件」については、大石議長から選任方法について会員に諮ったところ、「本部一任」となり、提出された本部案が承認されました。

- 第1号議案 令和5年度決算の承認の件  
関連報告事項 令和5年度事業報告の報告の件  
令和6年度事業計画及び予算の報告の件
- 第2号議案 会費に関する規則の改正の件
- 第3号議案 役員選任の件

なお、承認された新役員は以下のとおりです。

#### ○新役員

役 職	氏 名	備 考
会 長	大石久和	元国土交通省技監
副 会 長	酒井洋一	元国土交通省大臣官房技術調査官
〃	小川富由	元国土技術政策総合研究所副所長
〃	梅山和成	元国土交通省中部地方整備局長
〃	村田拓也	東京都港湾局技監
理 事	西植博	元国土交通省中国地方整備局副局長
〃	安田吾郎	元国土交通省東北地方整備局副局長
〃	藤井元生	元国土交通省九州地方整備局副局長
〃	吉塚靖浩	元農林水産省水産庁漁港漁場整備部長
〃	小林秀晃	札幌市建設局土木部長
〃	高野晃	宮城県土木部事業管理課長
〃	池田一紀	神奈川県県土整備局技監兼道路部長
〃	内田勝範	柏市土木部長
〃	飯泉貴史	土浦市都市政策部長
〃	川上孝裕	富山県土木部次長

〃	飯島 竜二	岐阜県県土整備部土木技監
〃	美馬 一浩	大阪府都市整備部技監
〃	藤井 優	鳥取県県土整備部技術企画課長
〃	新濱 光夫	徳島県県土整備部副部長
〃	田中 修	大分県大分土木事務所長
〃	小薬 洋昭	中日本高速道路(株)建設企画本部建設企画部建設企画課長
専務理事	若林 伸幸	元国土交通省関東地方整備局長
常務理事	秋山 栄一	元埼玉県県土整備部部付(土地開発公社理事長兼道路公社理事長)
監事	野澤 良一	元国土交通省港湾局海岸・防災課災害対策室長
〃	坂口 淳一	東京都交通局建設工務部長

理事23名、監事 2名

\_\_\_\_\_部は新任役員



【主催者挨拶を行う大石会長】



【総会の様子】

### ＜令和5年度谷口賞等の建設関係者表彰や令和5年度全建賞の表彰が行われる＞

表彰式は、定時社員総会に先立ち、令和6年6月26日（水）午前10時に開式され、谷口賞・谷口功労賞・小沢賞の各受賞者と、全建功労賞及び長期会員表彰の代表受賞者合わせて57名、全建の未来を育む功労協会賞の5名、さらに全建賞の実施機関の80名と賛助会員の代表者44名が出席し実施されました。

最初に大石会長の挨拶があり、続いてご来賓の本会顧問の足立敏之参議院議員、吉岡幹夫氏（国土交通省技監）、石田東生全建賞審査委員会委員長（筑波大学名誉教授）からご祝辞をいただきました。

表彰は、谷口賞、谷口功労賞、小沢賞、全建功労賞、長期会員、全建の未来を育む功労協会賞、全建賞の順で行われ、大石会長から賞状が授与されました。

授賞終了後、全受賞者を代表して谷口賞受賞者の酒井洋一氏からの謝辞があり、表彰式は終了しました。



【大石会長から谷口賞の授与】



【全受賞者代表の酒井洋一氏からの謝辞】

### <全会員対象 全建会員安心サポート制度について>

全建では、全会員を対象とする「全建会員安心サポート制度」を運用しています。サポートの内容は次のとおりです。

#### ①建設系公務員求償補償サポート

国家賠償法によって公務員個人が求償されたときの損害賠償金を、50万円を限度に補償します。なお、幅広いリスクを対象に、より手厚く安心な補償上乘せ（最大1億円）ができる建設系公務員賠償責任保険への加入をおすすめしています。

#### ②弁護士・医師等電話相談サポート

法律・税務・社会保険・医療・介護について、専門の弁護士・医師等による電話相談サポートがご利用いただけます。

全建では、会員が安心して職務を遂行することができるよう、会員サービスの充実に努めてまいります。

詳細については、下記の全建ホームページ（会員サービス）又はQRコードをご参照ください。

<https://www.zenken.com/service/ansin/ansin.html>



【問い合わせ先】 会員課 戸村 小沢

TEL : 03-3585-4546 E-mail : [kaiin@zenken.com](mailto:kaiin@zenken.com)

### <「訴えられたら」どうしますか!? インフラの管理瑕疵で… 入札契約で…>

～皆様からの声にお応えし、補償拡充プランが新登場～

**2024 年度建設系公務員賠償責任保険 建設系機構・公社等職員賠償責任保険 中途加入受付中!!>**

安心して公務に従事していただくため、保険未加入の会員の皆様は、是非この機会に本保険の加入をご検討ください。

例えば、下記のような事項に起因して、あなたが訴えられる可能性があります。

- 道路、河川等の設置又は管理瑕疵に起因した災害において損害が生じた  
（パトロールの見落とし、施設の老朽化、点検不足等）
- 工事中の事故に対する現場監督官の責務、工事検査の評点の不服
- 入札契約関連（積算ミスや技術審査への不服等に起因する入札業者からの訴訟）

- 許認可関連や情報公開請求（手続きの不備や遅れ、土地の境界争い等）
- 地元対応（言った、言わないなど、説明不足に起因した施工に対するトラブル）

本保険が好評な理由

- 建設系公務員等のリスクに対応した新しい保険
- 初年度加入日より前に行った行為に起因する請求も補償
- 退職後も5年間の補償が続く
- インターネットでも加入・更新の手続きができる

2023年度保険には、令和5年8月1日からの通年契約に、建設系公務員賠償責任保険には4,130名、機構・公社等職員賠償責任保険には280名の会員の皆様に加入していただきました。

2024年度保険について、令和6年8月1日からの通年契約を6月28日で受付を締切しております。

**今年度から皆様の声にお応えし、補償内容が3億円を限度とするプラン（Sタイプ）を新設しました。**（建設系公務員賠償責任保険についてはこれまでの5,000万円を限度とするプランがなくなりますのでご注意ください。）

なお、**本保険は、各年の8月1日からの1年間を保険期間としておりますが、通年契約でなくても「いつでも中途加入できます」。**

2023年度保険でも建設系公務員賠償責任保険には795名の方が中途加入し、令和6年5月末時点は4,925名の方が加入しています。機構・公社等職員賠償責任保険には36名の方が中途加入し、令和6年5月末時点は316名の方が加入しています。

- ①本保険は、正会員の皆様であればいつでも加入でき、中途加入の場合の保険料は月割り計算となります。
- ②2024年度保険パンフレット及び申込書（払込取扱票）は月刊「建設」2024年6月号に同封致しました。追加送付のご希望がありましたら、必要部数を下記取扱代理店までご連絡ください。（パンフレットは、全建ホームページからご覧いただくこともできます）
- ③加入（更新）手続きがインターネットでも行えます。
- ④各種の特約がついておりますので、保険の内容や加入手続きについての詳細は、下記の全建ホームページ（会員サービス）又はQRコードをご参照ください。

- ・建設系公務員賠償責任保険

<https://www.zenken.com/service/hoken/hoken.html>



- ・機構・公社等職員賠償責任保険

[https://www.zenken.com/service/k\\_hoken/k\\_hoken.html](https://www.zenken.com/service/k_hoken/k_hoken.html)



#### 【問い合わせ先】

- 本保険内容に関する問い合わせ・ご相談・パンフレット（払込取扱票）の入手

取扱代理店：建栄サービス株式会社 木村・渡辺  
（受付時間）土・日・祝日を除く 9:15～17:00

TEL：03-3291-6340 E-mail：[kb-madoguchj@kenei-s.co.jp](mailto:kb-madoguchj@kenei-s.co.jp)

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-1 山城ビル2階

引受保険会社：東京海上日動火災保険株式会社

（担当） 公務第一部 公務第一課 古木・蓑和

（受付時間）土・日・祝日を除く 9:00～17:00

TEL：03-3515-4122 〒102-8014 東京都千代田区三番町6-4

- 団体保険契約担当（会員に関する問い合わせ）

会員課 戸村 小沢

TEL：03-3585-4546 E-mail：[kaiin@zenken.com](mailto:kaiin@zenken.com)

## < 全建CPD（継続教育）の利用について >

全建は建設系CPD協議会に加盟しています。このため、全建のCPDに利用者登録し、認定された単位は、他の建設系CPD協議会加盟団体での認定と同様の扱いとなります（一部を除く）。

他のCPD加盟団体の講演会等に参加する機会の少ない地域においても、全建地方協会等の講演会に参加し全建CPDを取得すれば、他の建設系CPD協議会加盟団体での認定と同様な扱いを受けることが可能です。

全建会員は、全建CPD制度へ無料で利用者登録できますので、是非ご利用ください。

全建CPD制度の詳細につきましては、下記の全建ホームページ又はQRコードをご参照ください。

[https://www.zenken.com/ZK\\_CPD/main.html](https://www.zenken.com/ZK_CPD/main.html)



【問い合わせ先】 事業課 高野 春日

TEL : 03-3585-4546 E-mail : [zkcpd@zenken.com](mailto:zkcpd@zenken.com)

## < 「伝承プロジェクト」（出前講座）の活用について >

「伝承プロジェクト」は技術の伝承を目的に、貴重な体験や取組をした官公庁等技術者が、他の地方協会で行われる出前講座の講師となり技術等を伝え、また地方協会間を結んでいく事業です。

出前講座 講演分野 「東日本大震災」  
「平成28年熊本地震」  
「平成30年7月豪雨災害」  
「令和元年度東日本台風」

派遣協会 岩手県、宮城県、仙台市、福島県、広島県、熊本県

講師派遣費用（2名/1回まで）の全額、実施運営費の一部（上限4万円）は、本会が負担します。貴重な体験や新しい取組みの伝承にぜひご活用ください。下記の全建ホームページ（地方協会等事務局のページ）又はQRコードをご参照ください。（ログインが必要です。）

[https://www.zenken.com/jimu/jimukyoku/jyosei/densyou/densyou\\_jyosei.html](https://www.zenken.com/jimu/jimukyoku/jyosei/densyou/densyou_jyosei.html)



【問い合わせ先】 事業課 高野 杉戸

TEL : 03-3585-4546 E-mail : [kensyu@zenken.com](mailto:kensyu@zenken.com)

## < 全建本部と地方協会・地区連合会との情報交換等について >

全建本部では、地方協会・地区連合会との情報交換を密にし、より一層皆様の声を反映した事業を実施し、更なる全建活動の活性化を図ってまいりたいと考えています。

総会等の開催をご案内いただければ、全国的な動向について情報提供するとともに、会員の皆様のご意見等を伺う機会として、可能な限り出席させていただきます。

つきましては、総会等の開催の機会がございましたら、全建本部までご連絡いただきますようお願いいたします。なお、交通費等について地方協会にご負担いただくことはありません。

【問い合わせ先】 総務課 木下

TEL : 03-3585-4546 E-mail : [soumu@zenken.com](mailto:soumu@zenken.com)

## <「基礎から学ぶインフラ講座」－第4版－ 販売中>

全建では、月刊「建設」に連載中の「基礎から学ぶインフラ講座」をとりまとめて書籍として出版しておりますが、この度、第4版を出版しました。

本書は河川、道路、港湾、都市公園等の各事業について、管理区分、事業制度、技術的基準などを、出典を含めて基礎から学ぶことができます。また、分野横断的なものとして、入札契約制度や事業評価制度の概要や趣旨についても掲載しています。

第4版では、維持管理事業を追加し、掲載する事業・制度数が初版の約4倍となり、より充実した内容となっております。また、第3版に掲載していた事業についても、最新の統計値や最新の制度改正等を反映するよう、加筆・更新しています。下記の全建ホームページ（出版物）又はQRコードをご参照ください。

- ・一般技術図書：<https://www.zenken.com/syuppan/ippantosyo/ippantosyo.html>



### ○第4版の概要

- ・形式：A4判、200頁
- ・発行：令和6年3月
- ・定価：2,750円（税込） 送料本会負担

【問い合わせ先】 企画課 田中

TEL：03-3585-4546 E-mail：[kikaku@zenken.com](mailto:kikaku@zenken.com)

## <「監督・検査・成績評定の手引き」－三訂版－ 販売中>

公共事業の品質確保のための「監督・検査・成績評定の手引き」（三訂版）を出版しました。これは平成25年以来11年ぶりの改訂であり、施工データの自動計測、クラウド管理及び映像記録の活用といったICT(IoT)の導入、遠隔臨場の活用・普及及び工事関係書類の簡素化など、大きく変化した建設業の取り巻く状況に対応したものとなっております。

下記の全建ホームページ（出版物）又はQRコードをご参照ください。

- ・一般技術図書：<https://www.zenken.com/syuppan/ippantosyo/ippantosyo.html>



### ○三訂版の概要

- ・形式：A4判、409頁
- ・発行：令和6年2月
- ・定価：3,190円（税込） 送料本会負担

【問い合わせ先】 企画課 田中

TEL：03-3585-4546 E-mail：[kikaku@zenken.com](mailto:kikaku@zenken.com)

## <「令和6年 災害手帳」販売中>

本会出版の「令和6年災害手帳」は、災害復旧事業に関する国庫負担申請の事務手続きや、関連して必要となる技術的な留意点について解説したハンドブックです。初めて災害復旧事業に携わる方々にも容易に理解できるように、用語の解説や索引など、わかりやすい編集になっています。

下記の全建ホームページ（出版物）又はQRコードをご参照ください。

- ・災害関連技術図書：<https://www.zenken.com/syuppan/saigaikanren/saigaikanren.html>

○令和6年版の概要

- ・形式：A6判、842頁
- ・定価：2,640円（税込） 送料本会負担



【問い合わせ先】 企画課 田中

TEL：03-3585-4546 E-mail：[kikaku@zenken.com](mailto:kikaku@zenken.com)

＜「公共土木施設災害復旧の災害査定添付写真の撮り方」－令和5年改訂版－ 販売中＞

災害復旧事業の申請に必ず必要となる被災状況等の添付写真について、写真等の事例（分野別）他、留意事項等を取りまとめています。

令和5年改訂版では、国土交通省の「デジタル技術を活用した災害復旧の手引き（案）」を反映したほか、事例写真を多く掲載し、写真撮影時に写すべき箇所、アングル、撮影機材等の情報が分かりやすいように注記を付けています。また、河川、地すべり・急傾斜地、道路、橋梁など、分野ごとに写真撮影時のポイント一覧も追加しています。災害査定の実務に活用していただけます。下記の全建ホームページ（出版物）又はQRコードをご参照ください。

- ・災害関連技術図書：<https://www.zenken.com/syuppan/saigaikanren/saigaikanren.html>

○令和5年改訂版の概要

- ・形式：A5判、カラー、104頁
- ・定価：3,630円（税込） 送料本会負担



【問い合わせ先】 企画課 田中

TEL：03-3585-4546 E-mail：[kikaku@zenken.com](mailto:kikaku@zenken.com)

＜「公共土木施設の災害申請工法のポイント」－平成27年改訂版－ 販売中＞

本書は「災害手帳」の参考図書として、国庫負担申請にあたってのその範囲の考え方や、復旧工法等の基本的なポイントを、主として技術的観点から解説しています。

＜平成27年版の主な改訂点＞

- ・美しい山河を守る災害復旧基本方針、道路土工指針等最新の技術基準類の内容を反映した改訂
- ・下水道の災害復旧の考え方を新規追加
- ・その他の改訂（河川の最大洗掘深把握と根入れの考え方、橋梁設計荷重の追加等）

下記の全建ホームページ（出版物）又はQRコードをご参照ください。

- ・災害関連技術図書：<https://www.zenken.com/syuppan/saigaikanren/saigaikanren.html>



○平成27年改訂版の概要

- ・形式：A5判、カラー、304頁
- ・定価：2,954円（会員価格：2,363円）（税込） 送料本会負担

【問い合わせ先】 企画課 田中

TEL：03-3585-4546 E-mail：[kikaku@zenken.com](mailto:kikaku@zenken.com)

## ＜「技術者のための災害復旧問答集」－改訂版－販売中＞

公共土木施設に係わる災害復旧事業については、基本法となる「公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法」をはじめ、これに基づく政令や通達が定められており、その内容は多岐にわたっています。

「技術者のための災害復旧問答集」では、平成25年に10年ぶりの全面的な見直しを行いました。初めて災害復旧事業に携わる公務員や関係技術者を対象に、事例等を「Q & A」の形式で平易に解説してあります。災害復旧事業のわかりやすいテキストという位置づけで研修等の教材として、また、実務に際しての参考書として活用していただけます。

下記の全建ホームページ（出版物）又はQRコードをご参照ください。

- ・災害関連技術図書：<https://www.zenken.com/syuppan/saigaikanren/saigaikanren.html>

### ○改訂版の概要

- ・形式：A5判、254頁
- ・定価：2,640円（会員価格：2,090円）（税込） 送料本会負担



【問い合わせ先】 企画課 田中

TEL：03-3585-4546 E-mail：[kikaku@zenken.com](mailto:kikaku@zenken.com)

## ＜技術図書の4割引サービスを実施しています＞

出版各社の協力を得て、技術図書を4割引で斡旋しています。令和6年度の割引図書リストを更新しました。資格試験に役立つ図書のほか、様々なジャンルの図書を取り揃えておりますので、ぜひご活用ください。

詳細については、下記の全建ホームページ（会員サービス）、QRコード又は月刊「建設」2024年5月号をご参照ください。

<https://www.zenken.com/service/gijututosho/catalog.pdf>



【問い合わせ先】 会員課 小沢

TEL：03-3585-4546 E-mail：[kaiin@zenken.com](mailto:kaiin@zenken.com)

## ＜教養・育児図書の2割引サービスを実施しています＞

本会の会員及びその家族の方に限り、教養・育児図書提携3社の厳選された書籍を定価の2割引で斡旋しています。会員のお子様にはもちろん、その他プレゼントとしても大変喜ばれています。ぜひご活用ください。

詳細については、下記の全建ホームページ（会員サービス）、QRコード又は月刊「建設」2024年7月号をご参照ください。

<https://www.zenken.com/service/kyouyou/ichiran.pdf>



【問い合わせ先】 総務課 木下

TEL：03-3585-4546 E-mail：[soumu@zenken.com](mailto:soumu@zenken.com)

## ＜ 全建メールマガジン登録随時受付中 ＞

全建では、建設関係施策及び関連する情報等を月1回登録者の皆様に無料で発信しています。毎月ホットな情報を満載し、魅力ある情報を配信する全建メールマガジンです。

どなたでもご利用いただけます。是非ご登録ください！全建メールマガジン登録及び解除は、全建HPの全建メールマガジンのページで、直接ご自身で行ってください。

全建メールマガジンのページはこちらです [https://www.zenken.com/zk\\_mm/zk\\_mm.html](https://www.zenken.com/zk_mm/zk_mm.html)

最新号のメールマガジンはこちらです [http://www.zenken.com/zk\\_mm/back\\_no/back\\_no.html](http://www.zenken.com/zk_mm/back_no/back_no.html)

### 令和6年6月の動き

○ 6月 1日 (土)	機関誌 月刊「建設」6月号発行 特集：災害に強い安全な国土づくり ～防災・減災、国土強靱化～	発行部数57,600部
○ 6月 7日 (金)	埼玉県建設技術協会通常総会	於：埼玉県さいたま市
○ 6月 13日 (木) ～ 14日 (金)	実地研修会 明石海峡大橋 ～世界最大級の吊り橋の維持管理～	於：神戸市 他
○ 6月 14日 (金)	長野県建設技術協会通常総会	於：長野県長野市
○ 6月 25日 (火)	研修委員会	於：WEB会議
○ 6月 26日 (水)	第67回定時社員総会・表彰式	於：東京都千代田区
○ 6月 27日 (木)	大阪府建設技術協会総会	於：大阪府大阪市
○ 6月 27日 (木) ～ 28日 (金)	実地研修会 大河津分水路改修事業 ～日本最大級の治水事業とその歴史～	於：新潟市 他

### 令和6年7月の予定

○ 7月 1日 (月)	機関誌 月刊「建設」7月号発行 特集：インフラの魅力が伝わる広報へ ～地域の成功例に学ぶ～	発行部数57,300部
○ 7月 8日 (月)	茨城県建設技術協会定期総会	於：茨城県水戸市
○ 7月 9日 (火)	群馬県建設技術協会通常総会	於：群馬県前橋市
○ 7月 9日 (火)	合同研修委員会	於：東京都港区(WEB併用)
○ 7月 11日 (木) ～ 12日 (金)	実地研修会 東日本大震災の復興と現状 ～3.11からの復興と伝承の取組～	於：岩手県北上市 他
○ 7月 12日 (金)	福井県建設技術協会総会	於：福井県福井市
○ 7月 12日 (金)	新潟県建設技術協会通常総会	於：新潟県新潟市
○ 7月 17日 (水)	機関誌合同編集委員会	於：東京都港区
○ 7月 19日 (金)	香川県建設技術協会通常総会	於：香川県高松市
○ 7月 24日 (水)	北陸地方整備局建設技術協会特別会員部会総会	於：新潟県新潟市
○ 7月 25日 (木) ～ 26日 (金)	実地研修会 平成30年7月豪雨からの復旧・復興 ～災害に強い道路ネットワークの構築と被災市町の 災害対応・伝承～	於：広島市 他
○ 7月 30日 (火)	第2回公共工事品質確保技術者資格認定委員会	於：協会会議室(WEB併用)